

ハウス・オブ・ザ・イヤー・イン・エナジー2013

別紙1(視点1:設備の省エネルギー性能) 8地域用

2013.10.01 版

■必ず、「平均U値等計算書」(熱貫流率計算書シートおよび面積表(8地域)シート)を添付して下さい。
フォーマットは <http://www.jcadr.or.jp/> からダウンロードできます。

■必ず、この資料の記入内容に沿って「住宅・住戸の省エネルギー性能の判定プログラム」(以下、算定プログラム。
<http://house.app.lowenergy.jp>)で計算を行い、結果を添付して下さい。

■用語の定義等に関して、必ず算定プログラムの解説書(<http://www.kenken.go.jp/becc/index.html#TechnicalReport> の「一次エネルギー消費量算定プログラム解説(住宅編)」)をご一読下さい。

■省エネルギーに関する仕様の詳細

設問に従い、各項目にチェックおよび仕様等を記入して下さい。

なお、ここで記入する設備種類・仕様等は、「平均U値等計算書」に示す住宅モデルにおいて採用するものとし、原則として上記の「住宅・住戸の省エネルギー性能の判定プログラム」の入力内容と整合させて下さい。

1. 外皮の仕様について

単位温度差あたりの外皮熱損失量(q値)、および単位日射強度あたりの冷房期日射熱取得量(m_c値)を、「平均U値等計算書」の面積表(8地域)シートから転記して下さい。

| | | |
|-------------------|-------------------------|---------------|
| q 値: | [W/K] | (小数点以下 1 桁まで) |
| m _c 値: | [W/(W/m ²)] | (小数点以下 2 桁まで) |

(注)通風の利用および蓄熱の利用については、算定プログラムでは「利用しない」を選択して下さい。標準仕様としてこれらを利用する場合は、別紙2にその概要を記載して下さい。

2. 設備の仕様について

標準で採用する設備について、そのメーカー・型番・仕様等を記入して下さい。

2-1 暖房設備

8地域では、暖房設備に関する記入事項はありません。

2-2 冷房設備

(1) 冷房方式について、該当するもの一つに✓を記入し、「→」以降の指示に従って下さい。

- ダクト式セントラル空調を用いて、住宅全体を冷房する → (2)に記入して下さい
- 「主たる居室」と「その他の居室」の両方あるいはいずれかに冷房設備機器を設置する
→ (3)(4)に記入して下さい
- 冷房設備機器を設置しない →2-3 換気設備 に進んで下さい

(2) ダクト式セントラル空調について、熱源機のメーカー・製品型番を記入して下さい。

| | |
|-------|-------|
| メーカー: | 製品型番: |
|-------|-------|

別紙 1

(3) 主たる居室の冷房設備機器について、該当するものに✓を記入し、それぞれ囲みの各項目を記入して下さい。

ルームエアコンディショナー

| | |
|--|--------------|
| メーカー: | 製品型番: |
| 定格冷房能力: [W] | 定格冷房消費電力 [W] |
| 定格冷房エネルギー消費効率: [-] | |
| 定格冷房エネルギー消費効率の区分(いずれかに✓): <input type="checkbox"/> (い) <input type="checkbox"/> (ろ) <input type="checkbox"/> (は) | |

その他の冷房設備機器

| | |
|----------|-------|
| 設備機器の種類: | 製品型番: |
| メーカー: | |

主たる居室には冷房設備機器を設置しない

(4) その他の居室の冷房設備機器について、該当するものに✓を記入し、それぞれ囲みの各項目を記入して下さい。

ルームエアコンディショナー

| | |
|--|--------------|
| メーカー: | 製品型番: |
| 定格冷房能力: [W] | 定格冷房消費電力 [W] |
| 定格冷房エネルギー消費効率: [-] | |
| 定格冷房エネルギー消費効率の区分(いずれかに✓): <input type="checkbox"/> (い) <input type="checkbox"/> (ろ) <input type="checkbox"/> (は) | |

その他の冷房設備機器

| | |
|----------|-------|
| 設備機器の種類: | 製品型番: |
| メーカー: | |

その他の居室には冷房設備機器を設置しない

2-3 換気設備

(1) 主要な換気設備の方式について、該当するもの(一つだけ)に✓を記入し、「→」以降の指示に従って下さい。

- ダクト式第一種換気設備(熱交換型を含む) →下の囲みおよび(2)(3)に記入して下さい
- ダクト式第二種または第三種換気設備 →(2)に記入して下さい
- 壁付け式第一種換気設備 →下の囲みおよび(4)に記入して下さい
- 壁付け式第二種または第三種換気設備 →(4)に記入して下さい

| | |
|-----------------|-----|
| 第一種換気設備の有効換気量率: | [-] |
|-----------------|-----|

(2) ダクト式換気設備の場合で、以下に示す項目に該当するものがある場合、いずれか一つだけに✓を記入して下さい。

- 径の太いダクトを使用する
- 径の太いダクトを使用し、かつDCモーターを採用する
- 比消費電力で省エネルギー効果を評価することができる →下の囲みに記入して下さい

| | |
|------------------|----------|
| ①基本となる比消費電力: [-] | ②効果率 [-] |
| ③比消費電力(①×②): [-] | |

(3) ダクト式第一種換気設備で熱交換型換気を採用する場合は、以下に熱交換効率を記入して下さい

| | |
|--------|-----|
| 熱交換効率: | [%] |
|--------|-----|

(4) 壁付け換気設備を設置する場合で、比消費電力で省エネルギー効果を評価することができる場合、下の囲みに記入して下さい(※記入は必須ではありません)。

| | |
|--------|-----|
| 比消費電力: | [-] |
|--------|-----|

(注)算定プログラムでは換気回数を0.5回として計算して下さい。

別紙 1**2-4 給湯設備**

(1)給湯熱源機について、該当するもの(一つだけ)に✓を記入し、それぞれ囲みの各項目を記入したうえで「→」以降の指示に従って下さい。

- ガス給湯機 →(2)～(7)に記入して下さい

| | | | |
|-------|-------|--------------------|-----|
| メーカー: | 製品型番: | JIS 効率(不明の場合は空白可): | [%] |
|-------|-------|--------------------|-----|

- 石油給湯機 →(2)～(7)に記入して下さい

| | | | |
|-------|-------|--------------------|-----|
| メーカー: | 製品型番: | JIS 効率(不明の場合は空白可): | [%] |
|-------|-------|--------------------|-----|

- ヒートポンプ・ガス瞬間式併用型給湯機 →(3)～(7)に記入して下さい

| | |
|---------------|---|
| メーカー: | 製品型番: |
| 種類(いずれか一つに✓): | <input type="checkbox"/> ハイブリッド1 <input type="checkbox"/> ハイブリッド2 |

- 電気ヒートポンプ給湯機 →(2)～(7)に記入して下さい

| | | | |
|-------|-------|---------------|-----|
| メーカー: | 製品型番: | JIS 効率(空白不可): | [%] |
|-------|-------|---------------|-----|

- コージェネレーション →(2)～(7)に記入して下さい

| | |
|-------|-------|
| メーカー: | 製品型番: |
|-------|-------|

- その他の給湯設備機器 →(2)～(7)に記入して下さい

| | | |
|------------|-------|-------|
| 給湯設備機器の種類: | メーカー: | 製品型番: |
|------------|-------|-------|

- 給湯設備機器を設置しない →(3)～(7)に記入して下さい

(2)ふる機能について、該当するもの(一つだけ)に✓を記入して下さい。

- 給湯単機能 ふろ給湯器 (追焚なし) ふろ給湯器 (追焚あり)

(3)給湯配管方式について、該当するもの(一つだけ)に✓を記入して下さい。

- 先分岐方式
 ヘッダー方式 (分岐後のすべての配管径が13A 以下)
 ヘッダー方式 (分岐後のいずれかの配管径が13A より大きい)

(4) 台所水栓について、「2 バルブ水栓以外のその他の水栓」を標準採用する場合、下の囲みにメーカー・型番を記入したうえで、節湯機能で該当するものがあれば✓を記入して下さい。

| | |
|-------------------------------------|--------------------------------------|
| メーカー: | 製品型番: |
| <input type="checkbox"/> 手元止水機能を有する | <input type="checkbox"/> 水優先吐水機能を有する |

(5) 浴室シャワー水栓について、「2 バルブ水栓以外のその他の水栓」を標準採用する場合、下の囲みにメーカー・型番を記入したうえで、手元止水機能を有する場合は✓を記入して下さい。

| | | |
|-------|-------|-------------------------------------|
| メーカー: | 製品型番: | <input type="checkbox"/> 手元止水機能を有する |
|-------|-------|-------------------------------------|

(6) 洗面水栓について、「2 バルブ水栓以外のその他の水栓」を標準採用する場合、下の囲みにメーカー・型番を記入したうえで、水優先吐水機能を有する場合は✓を記入して下さい。

| | | |
|-------|-------|--------------------------------------|
| メーカー: | 製品型番: | <input type="checkbox"/> 水優先吐水機能を有する |
|-------|-------|--------------------------------------|

(7) 浴槽について、高断熱浴槽を標準採用する場合、下の囲みにメーカー・型番を記入して下さい。

| | |
|-------|-------|
| メーカー: | 製品型番: |
|-------|-------|

(注)太陽熱給湯を行う場合は、算定プログラムでは計算せず、別紙2に概要を記載して下さい。

別紙 1

2-5 照明設備

(1) 主たる居室の照明設備について、下表で該当する組合せ(一つだけ)に✓を記入して下さい。

| 設置の有無 | 白熱灯 | 多灯分散照明方式 | 調光が可能な制御 | チェック欄 |
|-------|-----------------|----------|----------|--------------------------|
| 設置しない | | | | <input type="checkbox"/> |
| 設置する | すべての機器において使用しない | 採用しない | 採用しない | <input type="checkbox"/> |
| | | | 採用する | <input type="checkbox"/> |
| | | 採用する | 採用しない | <input type="checkbox"/> |
| | | | 採用する | <input type="checkbox"/> |
| | いずれかの機器において使用する | | 採用しない | <input type="checkbox"/> |
| | | | 採用する | <input type="checkbox"/> |

(2) その他の居室の照明設備について、下表で該当する組合せ(一つだけ)に✓を記入して下さい。

| 設置の有無 | 白熱灯 | 調光が可能な制御 | チェック欄 |
|-------|-----------------|----------|--------------------------|
| 設置しない | | | <input type="checkbox"/> |
| 設置する | すべての機器において使用しない | 採用しない | <input type="checkbox"/> |
| | | 採用する | <input type="checkbox"/> |
| | いずれかの機器において使用する | 採用しない | <input type="checkbox"/> |
| | | 採用する | <input type="checkbox"/> |

(3) 非居室の照明設備について、下表で該当する組合せ(一つだけ)に✓を記入して下さい。

| 設置の有無 | 白熱灯 | 人感センサー | チェック欄 |
|-------|-----------------|--------|--------------------------|
| 設置しない | | | <input type="checkbox"/> |
| 設置する | すべての機器において使用しない | 採用しない | <input type="checkbox"/> |
| | | 採用する | <input type="checkbox"/> |
| | いずれかの機器において使用する | 採用しない | <input type="checkbox"/> |
| | | 採用する | <input type="checkbox"/> |

2-6 太陽光発電設備

太陽光発電設備を標準で採用する場合、下の囲みの各項目を記入して下さい。なお、パネルは住宅モデルにおける南面屋根(約 33m²)に設置するものとし、**システム容量は 6.0kW を上限とします。**

| | |
|----------------------|--|
| メーカー: | 製品型番: |
| 太陽電池アレイのシステム容量: | [kW] |
| 太陽電池アレイの種類(いずれかに✓): | <input type="checkbox"/> 結晶系太陽電池 <input type="checkbox"/> 結晶系以外の太陽電池 |
| 太陽電池アレイ設置方式(いずれかに✓): | <input type="checkbox"/> 架台設置形 <input type="checkbox"/> 屋根置き形 <input type="checkbox"/> その他 |

(注)太陽光発電を採用する場合、算定プログラムでは以下のように設定して計算して下さい。

「方位の異なるパネル」:1 面、「年間日射地域区分」:A3 区分(中程度)

「パネル設置方位角」:真南から東および西へ 15 度未満、「パネル設置傾斜角」:20 度

2-7 コージェネレーション

コージェネレーション設備を標準で採用する場合、該当するもの(一つだけ)に✓を記入し、下の囲みを記入して下さい。

- PEFC1 PEFC2 PEFC3 PEFC4/6 PEFC5
 SOFC1 SOFC2 GEC1 GEC2

| | |
|-------|-------|
| メーカー: | 製品型番: |
|-------|-------|